

しばざくら

【教育目標】 「心豊かに たくましく 生きぬく生徒」

- 自ら創造する生徒
- 思いやりのある生徒
- 健康で活力のある生徒
- 責任を果たす生徒



夏休みの振り返りと2学期に向けて(始業式)



2年生宿泊学習～お世話になった士幌町 高木町長と一緒に～ 第5

8月18日(金)より町内の全小中学校の2学期がスタートいたしました。ここ数年の夏は暑い日が多いように思います。今年は、更に、猛暑日も何日間もあり、熱中症アラートがでるなど、部活動も活動停止となる日もありました。全国に目を移すと、沖縄をはじめ、近畿地方では台風の影響により甚大な被害が出るなど、穏やかでない地域も多々あった夏休みでした。道内においても、今年の高さで小豆などの作物に影響がありそうだと聞いております。皆様方におかれましては、いかがお過ごしだったでしょうか？

さて、過日6月20日に中教審答申を受け、今後5年間(令和5年度～令和9年度)の我が国の教育振興に関する施策の基本方針となる、「次期教育振興基本計画」が閣議決定されました。そこには、大きく二つの柱があります。

- 1) 持続可能な社会の創り手を育成すること。
- 2) 日本に根ざしたウェルビーイングの向上を目指すこと

私自身は、この二つの実現において「学校教育」が果たすべき役割は大きいと考えています。一方で、この基本的な考え方は、子どもに限った概念ではなく、大人への問いであるように思うのです。予測困難な時代において、持続可能な社会を維持・発展させていくためには、子どもを取り巻く教育課題と合わせ、地域で抱える課題や社会問題等を解決する必要があります。そのためには、「子どもから大人までの世代間交流」や「自治体の枠を超えた連携・協働」、更には、「産官学民の協働体制」等、『つながり』が何よりも重要なキーワードになってくると考えます。

その「つながりづくり」を果たすべき役割として、「教育」は大いに期待されます。子どもの学びを核としながら、地域の生涯学習及び社会教育活動等とつながることにより、単に、子どもの学びが充実するばかりではなく、多様な個人(大人)の学びが活かし活かされるなど、「教育」を手段として、一人一人が幸せや生きがいを感じる地域へ発展していくことが期待できるのです。そのためには、子どもから大人までが集い・交流し、物事を創造していく「共創空間」が必要です。同時に、地域と学校、住民と住民、官と民といった、つなぎ役としてのコーディネーターの存在は必須であります。今後、各地域の特色や民意を活かした、教育環境整備および人的配置に努めてまいります。

～栄光の架け橋～(北海道中学校陸上競技大会等の各種結果報告)

陸上～全道7位入賞!

7月25日(火)～27日(木)の期間、釧路市市民陸上競技場で、第54回北海道中学校陸上競技大会が開催されました。過日、十勝大会で全道大会出場の標準記録を突破し、本校の黒坂理央さんが、女子200mと800mの2種目出場しました。

当日、釧路は気温が35度近くまで上がり、猛暑日ではありましたが、800mは予選を通過し、決勝進出。翌日の決勝では、最後まで走りきり、7位入賞となりました。

タイムは2分21秒63。自身が今大会で目標としていた2分20秒台を切ることが出来ませんでしたが、本当に暑い中、頑張っていました。今後、更に、新人大会等各種大会を予定しておりますので、まずは、自身の目標を達成できるよう頑張ってくださいと思います。



【全道大会にて6位入賞を果たす】

令和5年度少年の主張「十勝地区大会」

7月1日(土)に十勝合同庁舎にて、令和5年度「少年の主張」十勝地区大会が開催されました。毎年行われている取組で、本年度は忠類中学校が代表割り当てで、幕別町を代表して、2年高橋ひまりさんが出場しました。

日常生活の中で感じた疑問や気づきを自身の言葉しっかりと表現していました。好みの服に関する題材で、描写表現がとても丁寧で、話から情景が目に見えてくる作品です。結果、十勝全町村から出てくる作品の中から、優秀賞として選出されました。

文章を文字にし、何度も推敲することで、言葉や表現が研ぎ澄まされてきます。良い経験となりました。おめでとうございます



【優秀賞に選出。十勝ベスト3へ】

新チーム始動!～秋季 東部・東北部方面大会～

8月19日(土)に幕別町営球場にて方面秋季野球大会が開催されました。忠類中の3選手(長田さん・常丸さん・長崎さん)も出場し、幕別町合同チームの勝利に大きく貢献しています。

翌日20日(日)には札内スポーツセンターにて卓球部が、翌週27日(日)には札内中学校体育館にてバレーボール部がそれぞれ方面秋季大会を迎えました。どの部の選手も、酷暑の厳しい条件の中、3年生が引退してから夏休みにかけての練習の成果を発揮することができました。今後の秋季十勝大会に向けても、活躍を期待しています。

【秋季方面大会の結果】

野球部 ～1勝1敗(4対1○足寄・本別・勇足、2対6●池田・幕別・豊頃)

卓球部 ～団体戦(0対3●札内)。 個人戦は多くの生徒が1勝をしていました。

バレー部～人数が足りないため、豊頃との合同チーム&3年生の助っ人で1勝2敗(札内○、札内東●、足寄本別●)

9月行事予定

- 1日(金) 前期期末テスト
- 2日(土) 全十勝秋季野球大会
- 3日(日) 全十勝秋季野球大会
- 5日(火) 酪農体験学習(1年)
- 6日(水) 定例職員会議
- 7日(木) 校内意見発表大会
- 8日(金) 校内研修
- 9日(土) 全十勝秋季野球大会

- 11日(月) 林業体験学習(1年)
- 13日(水) 3年 学力テスト(総合A)
- 14日(木) 生徒会役員選挙
- 15日(金) 文化祭特別時間割 開始
- 16日(土) 全道新人陸上大会(札幌)
- 17日(日) 全道新人陸上大会
- 20日(水) 常任委員会
- 30日(土) 第55回 文化祭



『学びと感謝の2日間』～2年生 宿泊学習～

7月19日(水)・20日(木)の2日間 2年生は土幌町での宿泊学習に行きました。総合的な学習の時間での探究活動として、忠類の特色や活性化について学んでいる2年生。今回の宿泊学習は他の町と比較することを目的としています。土幌町の高木町長のまちづくり講話と丁寧な質疑応答、土幌高校での見学やアイスづくり体験、道の駅ピア21しほろでの職業体験活動などを通して、学びを深めることができました。1泊2日を通して学びに向かう2年生の姿勢は大変立派でした。今回の経験を生かして、今後は1人1人の課題設定と探求活動を進めていきます。

また、家族の元を離れ、いつも一緒に過ごしている仲間とともに、宿泊して語り合う時間は、かけがえのない思い出となったようです。道の駅で家族へのお土産を選んでいく姿も大変印象的でした。

宿泊学習では土幌町のみなさまにたくさんのご協力をいただきました。私たちの学びや思い出作りに力を貸してくださったみなさまに感謝です。今回お世話になった方々は、忠類中学校のみなさんのことをこれからも気にかけてくれることでしょうか。みなさんのことを応援していると思います。そんな方々の期待に応える活動をしていきたいですね。



土幌町長によるまちづくり講話



土幌町役場前で記念撮影



夕食にて。お腹いっぱい食べました。



土幌高校でのアイス作り



道の駅での職業体験



道の駅しほろの堀田さん小倉さんお世話になりました



2日間を通してお世話になった坂井さんにお礼の場面

『夢を実現するために大切なこと』～生活安全講座～

7月24日(月) 忠類駐在所 上野優真 巡査部長をお招きして、「生活安全講座」を行いました。夏休みを前に、自分の身を守るために大切なことを学ぶ時間でしたが、飲酒・喫煙・薬物・闇バイトなど、様々な犯罪のお話だけではなく、悩み・いじめなど、中学生にとって大切にしてほしい考え方について教えてくださいました。特に印象に残ったお話は、「自分の夢を実現するために必要なことは何ですか?」という問いかけ。その答えは「犯罪を犯さないこと。犯罪に巻き込まれないこと」警察官ならではの視点に、「なるほど。」と思わずうなずく生徒たち。知らず知らずのうちに犯罪に関わってしまうことへの危機感を確認する時間となりました。

ユーモアを交えた、とても分かりやすい内容でした。「気軽に駐在所に来てください!」とおっしゃってくれました。上野さんこれからも忠類地区の安全をよろしくお願いいたします。



夏休みに自主的な学習に取り組みました ～夏休み期間の自習室開放～

夏休み期間中に学習の場所として開放していた教室に、7日間でのべ44名の生徒が来校し、自主的に学習に励んでいました。特に暑い今年の夏。エアコンのきいた快適空間での学習は、とてもはかどっていたように見えました。友達と時間を合わせて、お互いに教えあひながら学習したり、夏休みの宿題を黙々とやったり、活用の仕方はそれぞれ。中には毎回来ては、4～5時間集中している生徒もいました。冬休みも同様に開放する予定です。長期休業期間、この期日に合わせて、地域の皆様にも学校を開放しております。気軽に足を運んで下さい。

忠類中学校
今年の夏休みも
教室を開放します

時間 8:30～14:30(入室自由)
開放日 7/25(火)、7/28(金)、8/1(火)、2(水)、
8/7(月)、8(火)、9(水)、16(水)

ルール



ちゅうるい学園 小中合同研修会「AED研修会」

7月19日(水)ちゅうるい学園 保体部の主催で、AED研修会を行いました。幕別消防署忠類支署の千葉さんと遠藤さんを講師にお迎えし、緊急通報の練習や救急車が来るまでの対処法、心臓マッサージやAEDの使用方法を学びました。実際に緊急時の模擬体験をすることができ、万が一の事態に備える技術と心構えを得る貴重な機会となりました。小学校と中学校の職員ともに、真剣に研修に参加することができました。



まずは消防署の千葉さんと遠藤さんが見本を見せてくださいました。

真剣な表情で心臓マッサージに挑む三宅先生



生徒考案！忠類ゆり根 オリジナルキャラクターがついに完成！！！！

7月の学校だよりでお伝えした、生徒考案の忠類ゆり根のキャラクター。地域の方の協力を得て、記載のキャラクターに整えていただきました。原画を忠実に活かしていた、とても愛くるしい素敵なキャラクターとして完成。

8月18日(金)の始業式でキャラクターを全校生徒にお披露目すると、2・3年生は自分たちが原画を描いて、キャラ設定を全員で考えた作品の仕上がりに感動している様子でした。1年生も先輩方の取組の一部を知ることができ、良い刺激となりました。

キャラクターのお披露目にはゆり根耕作組合 組合長の大坂崇士さんも訪れ、「今後忠類ゆり根・忠類地区の発展のために中学生が考案したものが活かされていくことが、とても楽しみで嬉しく思います。」との話をいただきました。

今後、どんな場面で活用されていくのか、夢が膨らみます。活用されたい場合は学校へお問い合わせ下さい。

忠類中学校 生徒考案

忠類ゆり根 オリジナル キャラクター

